

ゆたか倶楽部 ものがたり

クルーズ元年……③

「クルーズのゆたか倶楽部」は1984年に創業。日本クルーズ業界の黎明期から現在までを、同社創設者・クルーズマスターの松浦睦夫氏が同社の歴史とともに語る。

闊歩していた姿が印象的でした。この頃、雑誌「CRUISE」も創刊され、「船の旅」から「クルーズ」という言葉が使われるようになりまし。

チャータークルーズでは大赤字を出しましたが、シルバークラス（老眼鏡）販売とスーツケースレンタルは順調で、少しずつ借金の返済は進んでいました。2回目のチャーターは1990年、「ニュー1ゆうとびあ」での「天津・北京・大連クルーズ10日間」です。新聞での一般募集や、ゆたか倶楽部会員（入会金5000円、年会費3000円。当時180名ほどで年4回の会報誌を出していました）などで満船には届きませんでした。330名様の参加がありました。中国の天津では自転車があふれていましたが、パトカーが赤旗を振り、赤信号も突破し誘導してくれました。今では考えられない光景です。大連での目玉は当時まだ解放されていなかった旅順の203高地、東鶏冠山、水師営です。1990年には日本クルーズ客船の「おりえんとびいなす」が上海への処女航海を実施。約50名様を送客しました。1992年には大島運輸の「サンシャインふじ」

をチャーターして客船初の「利尻・礼文クルーズ」を実施しました。利尻島の杵形港では保野洋一観光課長（現利尻町長）が迎えてくれ、お客さまを全員森林公園でのバーベキューの昼食に招待、町を挙げて歓迎してくれました。この後、各船会社の船が利尻島、礼文島に寄港するようになりました。

このほかチャータークルーズで、天売島、新島、八丈島、甌島、沖永良部島、徳之島などの島へ、日本船を初めて寄港させました。

「飛鳥」デビュー

1991年、郵船クルーズから「飛鳥」が華々しくデビューしました。弊社が最初に募集したのはハワイクルーズ。フルクルーズの参加者は30数名様で、弊社からは8名様。今の「飛鳥II」の人気を考えると信じられない人数でした。弊社は1993年茅場町から、JR神田駅近くのビルの一室に移転しました。晴海客船ふ頭へのアクセスを考えての茅場町でしたが、この頃から晴海発着が減少し横浜発着が増えてきたのです。

1994年には飛鳥が第1回オセアニアグランドクルーズを実施しました。船会社は45日間のフル

クルーズに申し込むお客さまはいないだろうと、区間クルーズしか設定していませんでした。しかし弊社ではフルクルーズの代金を設定してもらい販売。他社からもフルクルーズの要望はあり、全体で19名様、弊社からは一番多い9名様に参加しました。クルーズ終了後、郵船クルーズの営業部長がお礼を兼ね来社。その際翌年のオセアニアクルーズのアイデアを聞かれ、「日数を少し短くし、早期割引でFステートを100万円ちょうどにすれば……」と申し上げました。私のアイデアかはわかりませんが、1995年のオセアニアクルーズは1人100万円ちょうど旅代金で、募集開始後わずか2週間で完売に。弊社でも65名様申し込みがあり、お客さまは本当に値段に敏感だなあと感じました。

創業10周年、第一種旅行業に

1994年5月、創業10周年を祝い「にっぽん丸」でワンナイトクルーズを実施しました。会員の皆さまや、船会社、外国船社日本代理店の幹部の方々、カルチャー教室の講師の方など約300名の皆さまと楽しい一夜を過ごしました。という一生に一度の旅行、知らない会社が高額な旅行代金を支払うことは当然心配だったことと思えます。この件で、一日も早く信頼される会社になりたいという思いを強く抱きました。

そこで、思い切って自社ビルを建てようと一大決心をしました。そのことがお客さまに安心感を与えられたからです。バブルがはじけて土地代も下がってきた頃、JR神田駅徒歩一分の更地が当初より3割安く提示され、総予算を少しオーバーしておりましたが購入することにしました。験を担いで、未広がりの平成8年（1996年）8月8日に契約。翌年8月1日、念願の5階建ての自社ビルが完成しました。

た。この年には借金も返済し、増資を考えていたところ、個人的なことですが私の自宅が市の道路拡張に引っ掛かりました。その補償金が入り、8600万円に資本金を増資しました。1995年、念願だった運輸省1種登録（現在の観光庁長官登録旅行業第一種。国内・海外すべての主催旅行の企画・実施ができる）を申請しました。

この年の3月には「新さくら丸」をチャーターした鳥羽クルーズを予定しており、集客は順調で1月には満船となりました。しかし1月29日に商船三井客船の取締役から頭を下げてお願いされました。震災復旧のため全国から神戸に集まった警察官や消防士の宿泊施設が足りず、日本クルーズ客船が「ニューゆうとびあ」を商船三井客船が新さくら丸を、政府に提供することが決まりました。こういう緊急事態では逸失利益の補填はないが理解してほしい、というお話でした。商船三井客船にはこれまでたいへんお世話になり、ましてやこの事

態に国に対して協力できることは今しかない、と了承しました。そのおかげかどうかわかりませんが、2週間前に申請していた1種登録について翌日運輸省から電話が入り、無事に認可が下りました。1996年の「飛鳥」の第一回世界一周クルーズは弊社からも53名様参加者があり、出航日の横浜港はたいへんなにぎわいでした。この世界一周の募集を機に、日本経済新聞と読売新聞の全国版に1ページ広告を掲載するようになりました。広告の反応はよく、全国7カ所のホテルで世界一周クルーズの説明会を行いました。ほとんどが弊社をご存じでないお客さま。「おたくは大手旅行会社の子会社か」などの質問も多く、世界一周



1991年にデビューした初代「飛鳥」



1989年就航した「ふじ丸」。2013年ゆたか倶楽部のチャーターがラストクルーズ



「にっぽん丸」船上で開催した創業10周年記念パーティー



松浦睦夫(まつら・むつお)
長野市松代町出身。1967年大学卒業後旅行会社に入社。1984年「ゆたか倶楽部」創業。海外渡航歴171回、クルーズ業界の第一線に45年間立ち続け、2003年には日本外航客船協会が選定した初代「クルーズ・マスター」の一人に。2015年3月、31年務めた代表取締役を退任。現在は同社オーナー兼取締役。

YUTAKACLUB CRUISES
http://www.yutakclub.co.jp
東京本社: TEL 03-5294-6261
大阪クルーズサロン: TEL 06-6455-0931
横浜クルーズサロン: TEL 045-227-8211